

# 同志社大学

## 2015年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016年 3月 14日提出

所 属	職 名	氏 名
スポーツ健康 科学部	准教授	上林 清孝
研 究 題 目	非侵襲的電気刺激を歩行中に付加することでの神経路興奮性に対する効果	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究課題では健常成人を対象とし、歩行中の非侵襲的な電気活動を付加することによって神経路の興奮性に生じる変化を明らかにすることを目的としている。</p> <p>課題初年度にあたる2015年度は、6 km/hの歩行および走行時の筋活動を体幹および下肢の筋活動をテレメータ式の筋電図計によって計測した。特に、体重を免荷することによって生じる筋活動変化を明らかにし、次年度以降の非侵襲的電気刺激の実験につながる基礎データを取得した。特徴的な変化としては、体重免荷の増加によってヒラメ筋の筋活動量が減少する一方で、協同筋である腓腹筋では免荷による影響が少ないなど、筋依存的な体重免荷の影響が明らかとなった。</p>	